

「令和３年度第１回京都市公共事業評価委員会で頂いた主な御意見と意見書への反映」一覧

主な御意見	意見書への反映
栗尾バイパス・二ノ瀬バイパス (栗尾バイパス) ・事業休止は残念であるが、京都市の厳しい財政状況を考慮するとやむを得ない。 ・未着工区間の現道にあるトンネルの点検や必要な補修等は実施するということがあり、仕方がない。 (二ノ瀬バイパス) ・事業休止はやむを得ないが、危険な法面の防災対策はしっかりと行っていただきたい。 ・災害が頻発するなかで、孤立する地域を無くすことや、災害復旧の際に大きな車両が通行できるようにする等、重要な事業である。	「２ 全体についての意見（Ｐ１）」に、 「事業休止が妥当であると判断した２事業については、安心・安全で円滑な通行を確保するために必要な事業であることから、できる限り早期の事業再開が望まれる。」と記載
七瀬川 ・近年、大雨が多く、七瀬川流域の宅地化が進む中、住民の方から事業の早期完成を望む声は多いと思われる。 ・最近ゲリラ豪雨が多くなっており、被害を軽減できるというのは良いことであり、１日も早く完成してもらいたい。	「３ 個別事業に対する意見、＜再評価＞、（３）河川事業 七瀬川（Ｐ２）」に、 「宅地化の進行に伴い、雨水の流出量が増加しており、近年の大雨（ゲリラ豪雨）の状況を踏まえると、全川に渡って治水効果が期待される遊水地を早期に整備する必要がある」と記載
三条鴨東地区 ・事業はほとんど完了し、ここまで来ているので、何とか残りわずかを早期に進めていただきたい。	「３ 個別事業に対する意見、＜再評価＞、（４）住宅地区改良事業 三条鴨東地区（Ｐ３）」に「改良住宅の建設や道路拡幅は完了しており、残る用地買収も１件となっている。引き続き、不良住宅の除却を進めるとともに、公共施設等の整備に取り組む必要がある」と記載